

産業再生エリア整備事業及び笑ふるタウンならば（商業交流ゾーン）整備事業に係るコンストラクション・マネジメント公募事業（公募型プロポーザル方式）実施要綱

（趣旨）

第1条 本要綱は、産業再生エリア整備事業及び笑ふるタウンならば（商業交流ゾーン）整備事業に係るコンストラクション・マネジメント公募事業（以下、「CM事業」という。また、コンストラクション・マネジメントを「CM」という。）を委託する者、コンストラクション・マネージャー（「CM事業」を実施する企業体のこと。以下、「CMR」という。）を公募型プロポーザル方式により選定することに関し、必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 本要綱において、プロポーザルとは、檜葉町がCM事業により業務に係る実施体制、実施方針及びその他の業務に関する事項についての提案（以下、「提案」という。）を受け、当該提案の内容を評価し、業務に最も適した者を選定することをいう。

（参加資格）

第3条 プロポーザルに参加することができる者は、次の各号のすべてに該当する者とする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4（同令第167条の11第1項において準用する場合を含む。）の規定に該当していないこと。
- (2) 檜葉町の工事等請負有資格業者名簿に登録されている者にあつては、評価基準日（提案書の提出期限の日）に工事等の請負契約に係る指名競争入札参加者の資格審査及び指名等に関する要綱（昭和61年10月1日訓令第1号）に基づく指名競争入札に参加することができない者でないこと。

（提案の方法等）

第4条 提案事業者は、CM事業へ参加するときは、募集要領の内容を踏まえて、技術提案書及びその他必要な書類を町長に提出しなければならない

い。

- 2 前項の規定による提出を行った提案事業者（以下、「参加事業者」という。）は、同項の書類を基に提案を行うものとする。

（委員会の設置）

第5条 提案の内容を審査し、CMRを厳正かつ公平に選定するため、産業再生エリア整備事業及び笑ふるタウンならば（商業交流ゾーン）整備事業に係るコンストラクション・マネジメント公募事業CMR選定審査委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

（組織）

第6条 委員会は、別表に掲げる職で構成し、町長が任命する。

- 2 委員の任期は、第9条の規定による報告を行う日までとする。

（委員長）

第7条 委員会に委員長1人を置き、総務課長の職にある者をもって充てる。

- 2 委員長は、会務を総括し、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第8条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、全委員の半数以上をもって成立とする。

- 2 会議の議長は、委員長とする。

（結果の報告）

第9条 委員会は、提案の内容に基づいて厳正かつ公平に業務に最も適した者を選定し、その結果を町長に報告する。

（委託事業者の決定）

第10条 町長は、前条に規定する選定の結果に基づき委託事業者を決定する。この場合において、町長は、提案者に対し当該決定の内容について書面により通知するものとする。

(事務局)

第11条 委員会の庶務は、新産業創造室が行う。

附 則

本要綱は、平成29年5月1日から施行する。

別表（第6条関係）

総務課長
復興推進課長
建設課長
産業振興課長
新産業創造室長